

【業務】

事業名	地域整備方向検討調査	表彰の理由
業務名	加賀南部地域整備構想策定他業務	<p>本業務における耐震診断で対象とした新堀川潮止水門（写真①）は、堰柱及び基礎工、ゲート設備、建築物など多岐にわたる要素で構成されている。</p> <p>これらの耐震診断では、聞き取りや現地計測調査に基づく解析モデル及び荷重条件の設定等を反映することにより、それぞれの要素に適した耐震診断手法を構築し、構造物の劣化状況を適切に反映した診断を実現した。（図①）</p> <p>また、能登半島地震で液状化の影響で被災した柴山潟堤の被災状況の調査にあたり、UAVレーザー測量を採用し（写真②）、数値地形図の作成、地盤変動状況の確認など、緊急性が求められる状況下で迅速に成果を提供し、早期復旧の検討に繋げた。（図②）</p> <p>以上のとおり、本業務はその成果が優秀で被災状況に応じた迅速な対応が評価され、他の模範となるものであるため、優良業務として表彰する。</p>
実施場所	石川県小松市及び加賀市市内	
業務の概要		
受注者	内外エンジニアリング（株）東京支社	
契約額	74,855千円（税込）	
工期	令和5年7月13日～令和6年3月15日	
<p>国営干拓事業「加賀三湖地区」及び国営総合農地防災事業「加賀三湖周辺地区」で造成された施設の更新整備の検討に加え、調査エリア内で発生した令和6能登半島地震による緊急を要する被災状況調査を実施。</p> <p>(1) 対象施設の耐震診断 (2) 対象施設の令和6年能登半島地震による被災状況調査 (3) 施設整備計画（加賀三湖導水路）の策定</p>		

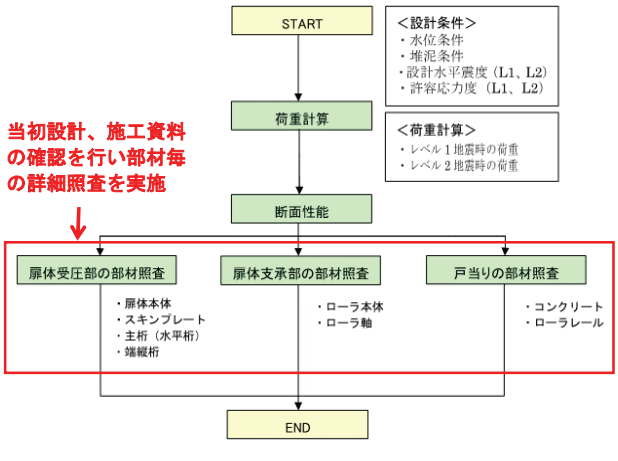


新堀川潮止水門 全景（写真①）

耐震診断

○潮止水門を構成する各構成要素の要求性能に応じて、レベル1地震動、レベル2地震動に対する耐震診断を実施。

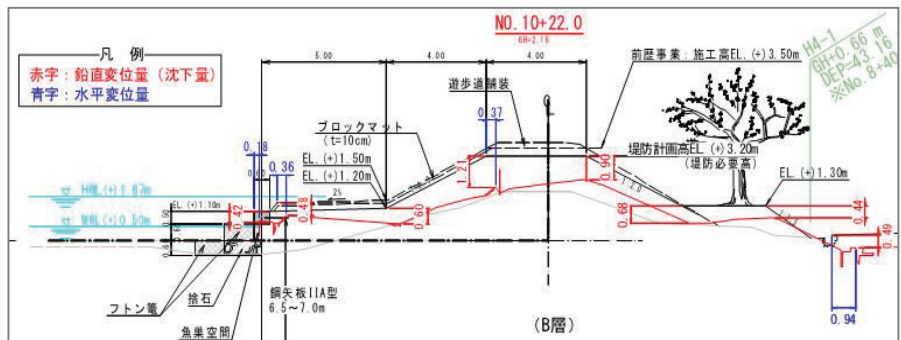
○耐震診断は、各施設毎（堰柱、堰柱基礎、ゲート設備、魚道、護岸、管理橋、監視所等）に地震動レベルに対する保持すべき耐震性能及び解析・照査手法を設定して診断。



潮止水門（ゲート設備）の各要素に適した耐震診断（図①）



測量で使用したUAV（写真②）



UAVで測定した柴山潟堤の地盤変動状況（図②）